

# 高

# 山口県立下関西高等学校

## 「探そう、未来、**究める個性**」

～今、あらたな学びが始まる～



### 『探究科とは』

知識・技能の習得のみならず、思考力・判断力・表現力を高め、主体的・協働的に課題解決を図る学習を重視する学科です。

探 究 科	人文社会科学科	○ 地理・歴史や英語などの文系分野を中心として専門性の高い学習に重点を置く。 → 文・国際・法・政治・経済・商などの学部への進学に対応
	自然科学科	○ 数学や理科などの理系分野を中心として、専門性の高い学習に重点を置く。 → 理・工・農・医・歯・薬・保健などの学部への進学に対応

# 1 育てたい生徒

- ① 広い視野と深い知識をもち、社会の激しい変化の中でも何が重要かを主体的に判断し行動できる生徒。
- ② 豊かな人間性を備え、多様な人々と協働できる生徒。
- ③ 理想を実現しようとする高い志や学び続ける意欲をもち、より良い社会と幸福な人生を自ら創り出すことができる生徒。

# 2 教育の特色

- ① 探究的な活動を進める科目の設定により、探究力や情報活用能力等を育成
- ② 各科目において探究的な活動を取り入れ、より深い学び、発展的な学習を展開
- ③ 理数・英語において専門科目を開設し、より高度な学習を展開
- ④ ゼミ形式の授業や自ら課題を設定し研究する学習（課題研究）、フィールドワーク等の体験的な活動、大学との連携等の多様な学習形態を導入
- ⑤ グローバル人材の育成を目的にした海外研修旅行等による異文化体験を実施

# 3 探究活動

## 1年次 基礎探究

文系・理系の両分野から探究活動の基礎を学び、思考力や判断力、表現力等を高め、2年次の発展探究につなげていきます。平成29年度探究科1年生の取組を紹介します。



化学 「カイロ」をつくろう



物理 エネルギーをみんなに



生物 ミクロワールドによるこそ



国語 「平家物語」に描かれた下関



地歴 海外旅行プランをつくろう



英語 ディベートを体験してみよう

## 2年次 発展探究

興味のある分野について、実験・実習・調査を行い、本格的な課題研究に取り組みます。また、論文の作成や研究発表会などを通して、まとめる力・話す力、発信する力を磨きます。以下、テーマの例です。

### 国語

- 金子みすゞと雑誌「童話」
- 下関の地名の由来から考える歴史
- 『古事記』『日本書紀』の中で語られる下関

### 数学

- オークションに出品する場合、売り上げを最大にするには？
- テトリスの全消しの考察
- コンビニエンスストアの最適立地を考える

### 地歴公民

- 近世における社会生活や文化について
- 地図の読み取りとフィールドワーク
- 日本のより良い選挙制度の在り方について

### 英語

- アメリカにおける知識人と政治の関わり
- ジョン万次郎のカタカナ英語と英語発音の改善について
- 英語でのディベートにおける説得の技法

### 物理

- 紙飛行機の飛距離について
- LED電球のちらつき

### 化学

- 氷と反応する寒剤の共通点
- 安全で丈夫なシャボン玉の作成

### 生物

- アサリの水質浄化能力について
- 金魚の体色の変化

## 4 「探究科」の特色ある取組

**校外研修** **アドバンスセミナー** **資格試験** 下関西高校探究科についてのQ & Aに記載  
**ハイレベル模試** 学習内容の定着度を把握するとともに、結果を今後の学習に活かします。

## 5 探究科1年生の研修

- ① 7月31日（月）午後 山口県・慶尚南道姉妹提携30周年記念「出前講座」
  - ② 9月14日（木）午後 九州大学工学部（物理系・化学系）北九州市立大学（文系学部）  
※4講座から選択して受講（場所：本校）
  - ③ 10月13日（金）午前 JAXA連携宇宙教育推進事業 授業支援 ① ※2講座から選択
    - ・ 物理系：講義・実験「無重力とスポーツ」
    - ・ 生物系：講義・実験「宇宙生物実験」
  - ④ 11月16日（月）1日 北九州市立大学・北九州産業学術推進機構、いのちのたび博物館
  - ⑤ 12月8日（金）午前 JAXA連携宇宙教育推進事業 授業支援 ② ※2講座から選択
    - ・ 物理系：講義・実験「GPSのしくみ」  
～みちびきの計測精度について～
    - ・ 生物系：講義・実験「宇宙食と味覚」
- ※ 今年度、山口県がJAXAと連携した宇宙教育推進事業のうち、本校は、授業支援及び課題研究支援を受けられることになりました。



## 下関西高校探究科についてのQ & A

### Q 1 なぜ、探究科を設置することになったのですか。

A 国が進めている教育改革では、主体的・協働的に探究する学習の重要性が指摘されています。また、「大学入学者選抜改革」では、今のセンター試験に代わる「大学入学共通テスト」（仮称）は、平成32年度から実施することとしています。現在の中学校3年生から対象となりますが、一部の大学の個別学力試験ではすでに改革が進んでいる状況もあることから、それらに的確に対応するとともに、新たな特色にしたいと考えました。また、探究科導入により、学校の活性化と更なる魅力づくりを進めることができると考えています。

### Q 2 「人文社会科」 と 「自然科学科」 はどう違うのですか。

A 「人文社会科」は国語や地歴、英語の文系分野、「自然科学科」は数学や理科等の理系分野に関する専門性の高い学習に重点を置く学科です。両科ともに、探究的な活動を積極的に展開することを特色としている点は同じです。

### Q 3 探究科を第一志願、普通科を第二志願とした場合、選抜の際に不利になることはありませんか。

A 探究科では、探究活動に加えて、難関大学・学部を目指すためにより発展的な学習を行うこととしています。本校を受検しようと考えている中学生の進路のニーズに従って探究科、普通科をそれぞれ志望してもらいたいと考えていますが、難関大学・学部を目指し、探究科の教育活動に意欲的に取り組もうと考えている中学生の皆さんは、第一志願を探究科、第二志願を普通科として出願してほしいと思います。なお、探究科を第一志願として、それが不合格になった場合に、第二志願の普通科の選抜において不利になるといったことはありません。

### Q 4 探究科における英語の学習について、特色があるのですか。

A 大学入試改革にもつながる英語4技能（話す、書く、聞く、読む）の向上を目指した指導を積極的に行います。また、4技能の力を客観的に評価するために、大学入試だけでなく、大学での教育にも外部検定試験を活用することが想定されており、学校単位で探究科全員の検定試験受験を推進し、資格取得や英語の学力向上を目指します。

### Q 5 アドバンスセミナーはどのような内容ですか。

A 難関大学・難関学部合格のための応用力育成を目的として、2・3学期を中心に土曜日の午前中に10回程度開講することになっています。内容は、本校教員による問題演習や外部講師による実践演習をします。

### Q 6 探究科の校外研修は、どのような内容ですか。

A 探究科の校外研修は、海外コースと国内コースの希望選択制としています。両コースとも、語学研修や企業・大学等での研修を中心に旅程を組み立てます。研修先は、海外はシンガポールやマレーシア、国内は東京になります。海外については、今まで行っていたスキー研修費用の約10万円より、やや経費がかかることになります。

### <御質問や詳細に関するお問い合わせ先>

※ 教頭または教育企画部に連絡してください。

山口県立下関西高等学校 全日制 探究科（人文社会科・自然科学科）

〒751-0826 山口県下関市後田町4丁目10-1

TEL 083-222-0892 Fax 083-222-0899

